

トークセッション

奥行きをなくした 顔の時代

— コスメ、女子写真、SNS —

2017年6月3日(土) 14:00~18:00

【プログラム】

講演 14:00~16:20

「コスメの国の私遊び」

米澤 泉 (甲南女子大学 准教授)

「イメージ化する身体

— 顔のマニピュレーション —

馬場伸彦 (甲南女子大学 教授)

「顔と写真」

澤田知子 (写真家)

トークセッション 16:30~18:00

司会: 小柏裕俊 (甲南女子大学 非常勤講師)

京都大学人文科学研究所 共通1講義室

【主催】京都大学人文科学研究所 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

【お問合せ】京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

| 予約不要 | 聴講無料 |

「奥行きをなくした顔の時代」

コスメの発達やスマホやアプリの進化によって、私たちの顔は以前よりもずっと撮られ、見られ、そして遊ばれるようになった。「盛り顔」「変顔」「動物顔」、もはや私の顔はひとつではない。キャラによって、服を着替えるように顔を着替える女性たち。そのようなメディア環境の中で、私の顔とは何かが改めて問われている。このトークイベントでは、「素顔」が意味をなさなくなった時代における顔について、あるいは編集されるイメージについて、コスメ、自撮り、SNS、さらにはアートの視点から浮き彫りにすることを試みる。



馬場伸彦 (ばば・のぶひこ)

甲南女子大学文学部メディア表現学科教授。
 専門：メディア文化論、日本近代文学、写真論。
 著書：『周縁のモダニズム』(人間社)、共著として『ロボットの文化誌』(森話社)、『機械=身体のパリティーク』(青弓社)、『「女子」の時代』(青弓社)、論文に「デジタルの時代」の身体と感覚経験」「家族写真と家族アルバムの変容 イメージのデジタル化をめぐる記憶と記録」など。



澤田知子 (さわだ・ともこ)

成安造形大学写真クラス研究生を修了、現在は同大学客員教授であり関西学院大学の非常勤講師も勤める。学生の頃よりセルフポートレイトの手法を使い作品を通して内面と外見の関係性をテーマに作品を展開している。デビュー作「ID400」が2000年度キヤノン写真新世紀特別賞、2004年に木村伊兵衛写真賞、NY国際写真センターThe Twentieth Annual ICP Infinity Award for Young Photographerなど受賞多数。世界中で展覧会を開催。出版物は、写真集の他に絵本などもある。



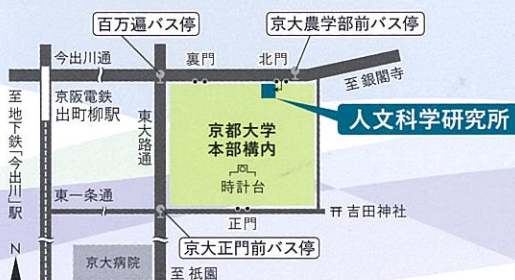
米澤 泉 (よねざわ・いずみ)

甲南女子大学人間科学部文化社会学科准教授。
 専門：ファッション文化論、化粧文化論。
 著書：『コスメの時代』『「女子」の誕生』『女子のチカラ』(以上、勁草書房)『私に萌える女たち』(講談社)『電車の中で化粧する女たち』(ベストセラーズ)など。



小柏裕俊 (おがしわ・ひろとし)

甲南女子大学、京都造形芸術大学などで非常勤講師。
 専門：フランス文学、文学理論。
 著書：「男装女装はフィクションか?」(『フィクション論への誘い』、世界思想社)、論文に「モンタージュの観点から小説を読むーカテブ・ヤシン『ネジユマ』の場合」、訳書にOriza Hirata, *Les Trois Sœurs (version androïde)*、(共訳、Les Solitaires Intempestifs)など。



●京阪電鉄「出町柳駅」下車徒歩15分
 ●市バス 3・31・65・201・206系統「百万遍」下車徒歩4分 / 17・203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
 いずれも京大北門入ってすぐ右 ※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい

次回予告
(京都)

●夏期公開講座

「名作再読」

講師 | 籠谷直人 / 永田知之 / 藤井俊之

日時 | 2017年7月8日(土) 13:00~17:00

場所 | 人文研本館 共通1講義室